

KOMAZAWA × HAMAMATSU 駒澤大学 2 × 0 浜松大学

先制点を決めた中後。リーグ戦を振り返り「自分の出来に納得していない」と語っていたが、インカレでは調子を上げてきている (撮影・野澤 俊介)

リーグの勢いそのままに！ 順当に 2 回戦突破！！

中後、橋本のゴールでベスト8進出！

松山大との 1 回戦を 8-0 で大勝した駒大が 2 回戦でむかえた相手は浜松大。昨年天皇杯 2 回戦で駒大と延長戦までもつれ込んだ相手だ。

「去年のこともあって気を引き締めて試合に臨んだ」(橋本)。やはり選手たちはそれなりに意識していた部分があったのか動きが硬い。8 分、原が相手ディフェンスの裏に飛び出しシュートを試みるもゴールキーパーがセーブ。そのこぼれ球につめていた巻がシュートするもボールは枠の外へ。28 分の中田のシュートもゴールわずかに右にそれてしまう。再三ゴール前までボールを運ぶも得点には至らず。一方、浜松大は駒大に勝るとも劣らない早いパス回しで果敢に攻め入ってくる。1 回戦の前半と同様、決定力不足が露呈した形で前半を終えた。

後半に入ってもなかなか得点が奪えない時間帯が続く。しかし、選手たちに「焦りはなかった」(中田) という。「駒大のサッカーをやり続けていれば勝てる」という確信があったからだ。駒大は中田、橋本の二人を使って得意のサイド攻撃をくり返す。さらには、二人が右に左にと大きくサイドチェンジをし、浜松大を大きく揺さぶる。次第に試合の主導権は駒大に。運動量の落ちてきた浜松大のスキをついてついに先制点がうまれた。

後半 29 分、ゴール前、巻からのパスを赤嶺がスルーし、後ろで待っていた中後が左足で押し込んで 1-0。

続く 34 分には相手選手がクリアしたボールを赤嶺が頭で合わせ橋本へ。「赤嶺がいい落としをしてくれたんで決めただけだった」という橋本が左足で放ったボールはきれいな曲線を描きゴールに吸い込まれた。駒大は後半ロスタイム桑原がイエローカード 2 枚目をもらい退場というアクシデントがあったが、無失点におさえ試合終了。